

鯖の熟れ鮓し仕込み始まる

11月20日に北谷町で「企業組合 鯖の熟れ鮓し加工グループ」による、今年度最初の漬け込みが行われました。

今回は年末の予約用として850匹の鯖を漬け込みましたが、すでに400匹の予約があるそうです。

今年度は、年の市と左義長祭り販売分を合わせて2,600匹分の熟れ鮓しを仕込む予定です。



今年から箱入りに!

手早い作業風景

ふれあい市民講座 ～あなたも映画監督になれる!～

11月16日に教育会館でふれあい市民講座が開かれ、勝山市出身で映画監督の奥村正彦さんが講演を行いました。

先日亡くなった俳優の森繁久弥さんとのエピソードや、映画監督の仕事内容、または俳優のキャスティングの苦労話などを面白おかしく話されました。

最後に勝山を舞台にした短編映画の原案を披露し、「やる気のあるかたがいれば、映画製作に協力します。」と意欲を語っていました。



参加者の質問に答える奥村さん

園児たちによる防火パレード

秋の火災予防運動に合わせ、11月9日に市内公立保育園（北、野向、平泉寺）の園児たちによる防火パレードが行われました。

中央公園で出発式の後、消防団員と婦人消防団員が見つめる中、消防車両を先頭に市内約600メートルを行進し、市民に防火を訴えました。



元気に行進!

浄土寺川ダムで手作りカヌー進水式

11月1日に、かつやま子どもの村小中学校の児童が4年前制作したカナディアンカヌーの進水式が、浄土寺川ダムで行われました。

以前、大雨で進水式が中止になり、延期されていたもので、当時製作した生徒たちがカヌーを浮かべ、気持ちよく湖面を滑らせます。



見事に浮かんで、すいすい進みます

ゆめおーれ来館者10万人

12月6日、はたや記念館ゆめおーれ勝山の来館者が10万人を突破しました。ゆめおーれ勝山が7月18日にオープンしてから、わずか5か月での達成です。

10万人目となったのは、新潟県から来られた鈴木博孝さんとそのご家族5人。市内で開催された北信越トランポリン大会に、娘の舞華さん、優奈さんの2人が参加したことから、ゆめおーれ勝山を訪れたとのこと。市長から記念品を手渡され、「機織り機を見たことがないので楽しみ。」と話していました。



10万人目の来館者となった鈴木さん一家

野向子ども教室が市内で初受賞

11月24日、野向子ども教室が文部科学省の放課後子ども教室推進表彰を受賞しました。

これは、野向小学校の全児童が、野向児童ホールを利用して、地域の皆さんと一緒に地域に密着した活動がされていることが認められたものです。

保護者会に地域のかたを交えた「野向っ子クラブ」ができて2年、高尾山だんご祭りに参加したり、ちまきや花巻き寿司を作ったり、今年はエゴマ栽培を体験するなど、幅広い活動をしています。



賞状を手に、皆で記念撮影

観光農園で自然薯掘り

11月14日に北郷町志比原で自然薯観光農園が開かれ、約20人の参加者が自然薯掘りと、新ソバ試食会を楽しみました。

当日はあいにくの雨で、参加者は土に埋まっている自然薯の植え付けられたパイプを掘り出すのに苦労していました。ただ、パイプを実際に開けてみるまでは、自然薯が生長しているかどうか分かりません。それでも、参加した皆さんは、楽しそうに自然薯掘りを満喫していました。



パイプを掘り出します



中から自然薯が!

楽しいハロウィーンパーティ!

11月14日、教育会館を会場にハロウィーンパーティが行われ、約60人の児童が参加しました。

県内在住の国際交流員と、参加児童たちが思い思いの仮装でゲームなどを楽しみました。

子どもたちは、「トリックオアトリート（お菓子をくれないといたずらするぞ）」と叫んでお菓子をもらったり、特設のお化け屋敷では泣いてしまう子も続出しました。



かぼちゃのお化けちょうちん作り
魔女っ子たちが見つめます